

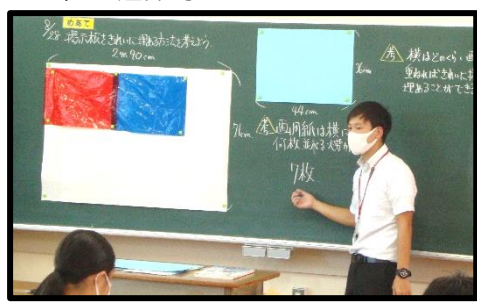


第2回校内研究授業を終えて

先週の校内研究授業では戸田先生・和久野先生、指導案作成や連日授業に向けた準備等、本当に熱心に準備していただきありがとうございました。

研究授業後の協議会では、高西中の先生もお迎えして、生徒以上に先生方の主体的な学びの姿が見られたのではないのでしょうか。三者懇談もあってお忙しい中でしたが本当にありがとうございました。

1年1組数学



研究授業の様子

○良かった点・参考になった点○

- 生徒の弱点を良く分析してあり、教師の指導の手だてが具体的であった。
- 日常の中に数学的な事象を見出す中で、その視点を絞ることで思考をしやすい工夫が行われていた。
- 生徒のノートを写真で撮ってすぐにテレビに映すなど ICT が有効的に活用されていた。

☆生徒の表現力を育成するためには、発表を行った生徒に対して適切な評価を行う必要がある



⇒ 「〇〇さんの発表で、ここがよかったよ」など、良かった発表の方法を全体で共有する。

- 表現することが苦手な生徒が多い中、どうすれば発表する生徒（良い発表を行う生徒）が増えるかを考える必要がある。

○良かった点・参考になった点○

- 生徒との人間関係が非常に良好（温かい雰囲気）だと感じた。
- 緊張した雰囲気の中でも、先生の授業で頑張りたい、発表をしたいという勢いがクラスにあって「学びに向かう力」があった。
- 生徒実態を踏まえて、それぞれの登場人物の視点を踏まえたリライト（文章の書き直し）を行って班ごとのプレゼンを行うことができた。
- 振り返りシートに工夫がしてあり、ポイントが押さえられる形となっていた。

2年3組国語



☆リライトという新しいものを積極的に取り入れ、自分の授業を常に向上していく気持ちを持ち続けることが大切である。



☆教科の本質的な問いを生徒に投げかけることで、生徒を思考させ、深い学びへとつなげていくことが大切である。

3年2組英語

○良かった点・参考になった点○



- ICT の活用方法を試行錯誤され、生徒が思考を行うために有効的だった
- 生徒に発表（発言）させるために、どうやって思考させるかをよく考えられていた。
- ペア学習を行う際の指示が明確で、テンポの良い授業展開となっていた。

☆表現力を鍛えるのであれば、全ての教科で統一して「表現」する場の設定を行う。最初は不十分な発表でも積み重ねをしていくことが大切である。



☆考えさせる場面では、どういう力を付けさせたいかを最初に考え、それをどうやって思考させるか、思考のために必要なツールは何かと教師が試行錯誤をしていくことが大切である。

今回の研究授業及び協議会でのキーワードは、『表現力』と『ペクトルをそろえた取組』ではないかと感じました。授業で、意図的に発表する場面を設定する。最初から上手にはできませんが、向島スタンダードの「伝え合おう！」のレベルを少しずつ高めていけるように粘り強く取り組んでもらえたらと思います。

If you want to see what children can do . you must stop giving them things .